



明けましておめでとうございます。

医療法人社団吉徳会 理事長

藤原 卓夫 ● ふじわら・たくお



あさぎり新聞の読者のみなさま、改めまして「新年明けましておめでとうございます」

今年も昨年同様、穏やかな三が日で、みなさまも健康やかに新年をお迎えになられた事でしょう。

さて、2017年世界を振り返ってみますと、国外では米大統領のトランプ氏と北朝鮮労働党委員長金正恩氏に振り回された一年でした。国内では秋に総選挙が実施され安倍政権の続投が決定しました。このような国内外の変化から、懸念していた世界経済は中国経済の減速も少なく、米国経済に主導され、国内経済はデフレ脱却とはいえないまでもGDPの1.5%上昇、株価上昇、雇用の増加で幕を閉じました。

上記のような状況の中、わが国の出生数は2年連続百万人を割り、少子高齢化は加速しています。よって社会保障費の中、医療費：40兆円、介護費：10兆円、合計50兆円とその額、国家予算の半額以上となりました。無論この費用は国費のみでなく、保険や国民負担額を含んだものです。

そして、今年は医療保険・介護保険の同時改正が4月に実施されます。医療費の自然増額数千億円を捻出するため、消費税率upを延期した政府は薬価の値下

げ、診療・介護実質の値下げで補おうとしています。質の高い医療を提供するには、高度な技術を有する人材、最新鋭の安全な診療機器、有効で副作用の少ない薬剤、治療効果が期待される食の提供などとともに、それらを機能的に作動させるシステムの構築が必要です。このような事を総合的に考え、吉徳会は2017年のスローガンとして「連携」を掲げ、職員一同努力してまいりました。

具体的な目に見える一例として、外来・病棟・手術場・事務が連携し、人にやさしい医療を提供すべく「日帰り手術センター」を設けました。

2018年はこの「連携」に引き続き、働き方改革を実施すべく、患者様にも職員にも共通する課題として「格差をなくして仕事を共有」をスローガンに掲げ実行していきたいと考えています。

正面玄関では「ペッパー君」もみなさまの来院をお迎えしております。何なりとお申し付けください。

「申(さる)酉騒ぐ、戌笑う」という言葉がありますが、戌年の今年、皆様が一年笑って過ごせる良き年になりますこと祈念して、年頭の挨拶にさせていただきます。

理 念

－ 人にやさしい医療を目指して －

1. 吉徳会は、患者様が尊厳ある人生を送ることができるよう、安全な医療サービスを提供する使命があると考えています。
2. 吉徳会は、患者様中心の医療、保健、福祉を快適に受けられる場所でなければならないと考えています。
3. 吉徳会は、たえず医療水準の向上に努め、職員の各人が誇りと責任を持って働ける職場でなければならないと考えています。

涙について

眼科医長

大塚 齋史 ● おおつか・よしふみ

涙は眼が正常な働きをするために欠かせないもので、主な役割としては、眼の表面の乾燥を防ぎ外界から侵入する菌や異物から眼を守る作用や、角膜表面を滑らかにすることで鮮明な像を見ることが出来ます。また、角膜は無血管組織ですので、涙が角膜表面に酸素や栄養を届ける働きがあります。

涙は図のように2層構造であり、「液層」「油層」からなります。液層は涙の大部分（95%）を占めており、タンパク質など様々な成分を含んでいます。角膜表面から分泌される粘液のムチンを含んでおり、このムチンが涙の安定性に重要な役割を果たしています。角膜を保護する作用や角膜に水分がなじみやすくする作用があり、このムチンがなければ角膜は水をはじいてしまい、涙が目表面を潤せなくなってしまいます。一方、油層は涙の表面を薄く覆っており、涙が蒸発するのを防いでいます。この部分に異常が生じると涙が蒸発しやすいドライアイを生じることになります。



ロービジョン勉強会のご報告

眼科医長

窪谷 日奈子 ● くぼたに・ひなこ

11月9日（木）にあさぎり病院別棟ドリームドームにて東京大学先端科学技術研究センター人間支援工学 特任研究員、産業医の三宅琢先生によるご講演を開催いたしました。

講演内容としては、第一部として産業医としての立場から「人生100年時代を生きるために」第二部として眼科医の立場から「ロービジョンケアにおけるデジタルビジョンケア」についてお話いただきました。

第一部では人生100年を健康に過ごすため、ストレスを減らしセルフマネジメントを行なう方法について。健康に年を重ねるためには、歯の健康、十分な睡眠、運動、コミュニティ（人間関係）の形成が重要で、具体的に食事をとるタイミングや間食・昼寝の有用性などまで詳しくお話をいただきました。

第二部ではタブレット型PCであるiPadやスマートフォンを、拡大鏡や音声補助支援機器として使う方法について。ご講演内容で特に印象的だったのは、拡大読書器としてiPadを提案していますが、実際患者様たちは本を読むことよりも爪切りや食事のおかずを識別するのに使われていたというお話です。ロービジョンケアにおいてこれからもっと積極的に、ニーズに合わせたICT機器を導入していくべきだと感じました。

当院でも毎月第3、4火曜日の午後に完全予約制でロービジョン外来を行っております。

今後も視覚障害者へのリハビリとしてロービジョンケアに取り組みたいと思います。



平成30年 これからもお母さんと 赤ちゃんの安全・安心のために

産婦人科診療部長

田中 あゆみ ● たなか・あゆみ

あけましておめでとうございます。平成も今年で最後の年となりました。来年天皇陛下が生前退位をされた後、新しい元号はどのようなのでしょうか。

昨年は、お産で亡くなった事例や重篤な障害を負われた方の報道が相次ぎました。中でも硬膜外麻酔による無痛分娩中の急変事例が目され大きなニュースになりました。確かに麻酔による合併症で救命処置が必要となることもあります。分娩週期で母体が死亡する最大の原因は、大量の出血（産科危機的出血）なのです（図1・2）。このデータは日本産婦人科医会が2010年から妊産婦死亡事例報告事業を立ち上げ、2017年6月までに集計した事例を検討分析した結果で、「母体安全の提言2016」としてネット上で誰でも見られるようになっています。日本の周産期医療は世界でもトップレベルにあり、妊産婦死亡は10万分娩に3～4人となっています。しかし、現状に甘んじることなく死亡0を目指して日本母体救命システム普及協議会（J-CIMELS）が2015年に設立され、産婦人科医だけでなく、お産や救命救急に関するすべてのスタッフが有機的に連携し、急変時の初期対応と高次医療機関への搬送を迅速かつ確にできるよう、シミュレーションを中心とした講習会を開催しています。私も昨年、主に初期対応を学ぶベーシックコースのインストラクター認定を取得し、コースを修了したスタッフとともに、あさぎり病院での母体救命マニュアルを整備して急変に備えています。そのかいあってか、産科危機的出血による死亡原因で最も多い子宮型羊水塞栓症が発症した時も、スタッフの的確な判断と日頃から連携いただいている西神戸医療センターの先生方の協力を得て、幸い母児ともに救命できました。



昨年4月、第69回日本産科婦人科学会学術集会で「無痛分娩を提供する施設では、器械分娩や分娩時異常出血、麻酔合併症などに適切に対応できる体制を整える」という緊急提言がありました。当院は1999年から無痛分娩を施行しており、昨年11月の第121回日本産科麻酔学会で「当院における硬膜外無痛分娩の管理と分娩時異常出血について」と題して最近5年間の実績をまとめて発表しました。無痛分娩のための計画出産は行っていませんが、自然陣痛でも麻酔をすると痛みが楽になると同時に陣痛も弱くなって、約60%に陣痛促進剤の追加が必要になります。また児頭の回旋異常が起こりやすく、いきむ感覚もわかりにくくなるため吸引や鉗子を用いた器械分娩も多くなっており、これまでの報告と一致していました。麻酔合併症は頭痛や軽度の血圧低下が主で重篤なものは0でしたが、分娩時異常出血（1L以上の出血）は全分娩の約5%に対し、無痛分娩では約10%でした。そこで、従来の分娩監視装置+自動血圧計に加え、母体の心拍と呼吸状態を反映する酸素飽和度も同時にモニタリングできる新型の分娩監視装置を導入し、安全な分娩管理体制を強化しています。（当院のHP参照）

最後に、自然分娩でも何もしなくてもリスクがなかったはずのお産でも突然急変して救命処置が必要となる可能性があることを肝に銘じて、これからも安全・安心なお産が提供できるようチームあさぎりスタッフ一同日々精進することを新年の誓いといたします。

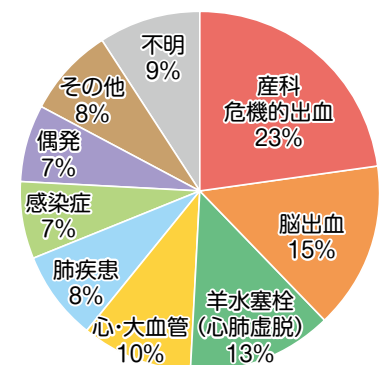


図1 妊産婦死亡原因別頻度 (n=277)

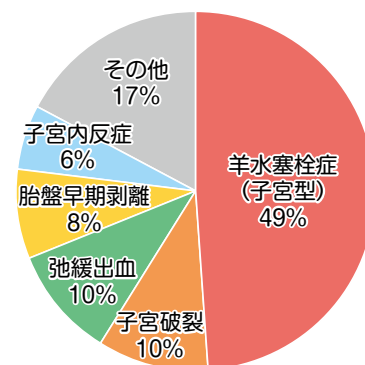


図2 妊産婦死亡の原因別頻度：産科危機的出血の原因別頻度 (n=64)

「けんしん」というと「健診」と「検診」がよく混同されます。広辞苑によれば「健診」は健康診断のことで病気の予防・早期発見のために医師が行う診断、「検診」は病気にかかっているかどうかを検査するために診察すること、とあります。「がんけんしん」はがんにかかっているかどうかを調べるので「がん検診」ということになります。

日本人では大腸がん、肺がん、胃がん、男性の前立腺がん、女性の乳がん、子宮がん等の死亡数が多いと報告されています。この中でも女性特有の乳がん、子宮がんは多くの方が受診されることで死亡率を下げることのできる効果が高いとされています。早期発見のために自覚症状が無い方も定期的に受診することが望まれます。

「健診」は全身の健康状態をチェックする目的で行われるもので、人間ドックは一般的な健診より充実した検査をおこないます。自治体が行う健康診断は健康診査ということが多い様です。尚、妊婦さんが受ける妊婦健診は「妊婦健康診査」の略です。

健診の項目は自治体や健診希望の方が所属する団体によって異なります。あさぎり病院の健診では眼科、産婦人科を含む全ての項目を受けることができます。詳しくは当院健診科にお問い合わせください。



お薬手帳と持参薬をお持ちください♪

当院では入院時にお薬手帳と現在服用されている薬（持参薬）の持参をお願いしております。入院時には薬剤師がお薬手帳と持参薬の内容をチェックしています。また、日帰り手術センターではお薬手帳を確認することで、当院からの処方内容との相互作用などを確認しております。服用中のお薬（持参薬）の内容を正しく確認することは、患者さんに安心して治療を受けて頂くためにとても重要になりますので、必ず持参頂きます様お願いいたします。



◆お薬手帳・持参薬チェックの利点

- ①医薬品名や成分、薬効、用量・用法等を確認することで、入院中の治療の向上につながり、薬物療法が円滑に実施できます。
- ②複数の医療機関受診による重複投薬、相互作用の有無の確認などができ、薬物療法の有効性・安全性が向上します。
- ③手術前に中止が必要な薬が確実に中止されているか確認し、安全に手術が行えるようにします。

お薬手帳は複数の医療機関を受診されている場合でも、お薬の重複服用を避けるために1冊で管理してください。この1冊で災害時や旅行中等の急な受診の際にも、服用しているお薬すべてを正確に医療機関へ伝えることができる便利なツールです。是非、この機会にお薬手帳の利用方法を見直してみてください。

薬務室

Pepper と TAPIA が あさぎり病院にやってきました!

Pepperはエントランス、TAPIAは眼科外来にいます。
会いにきてね!!

ソフトバンクロボティクスのPepperを活用し、当院が独自に実施しています。



学 会 発 表 報 告

医師 学会発表・報告

眼科部長

森井 香織 ● もりい・かおり

2017年10月に開催された日本臨床眼科学会で「模型眼で測定した眼内レンズW60,W60Rの球面収差の検討」をポスター発表しました。興味を持ち研究を行っている眼内レンズの球面収差の研究発表です。研究結果を臨床に役立てていきたいと思えます。

また今回の学会から、ポスター発表は「デジタルポスター」発表となりました。従来は紙に印刷したポスターを掲示しておりましたが、「デジタルポスター」では、横1m縦2m大の大きなスマホのような画面にポスターを表示し、スマホのように操作しながら発表をします。

学会も、新しい技術により進化しているなあと感慨深く思いました。



全日本病院学会 発表報告

情報システム室

大城 智之 ● おおしろ・ともゆき

平成29年9月9～10日に金沢で開催された「第59回全日本病院学会in石川」にて、演題『産科エコと電子カルテ連携の効果』について発表してまいりました。

エコー機器の計測値を画像ファイリングと電子カルテを連携させて自動送信するシステムは他施設よりも1歩先を行くシステムであるとの言葉を頂く事が出来ました。

また、医事課の大平勇也の演題『新生児における仮入力を用いた事前保険精算処理』では、会計の待ち時間短縮の成果について発表していました。

この経験を今後活かしていきます。



兵庫県研究発表会 発表・参加報告

産婦人科病棟

松岡 富子 ● まつおか・とみこ

平成29年8月19日兵庫県民間病院協会主催の第13回研究発表会に、中央材料室 菅明美が「腹腔鏡鉗子の洗浄評価」と、産婦人科病棟 松岡富子が「妊娠糖尿病 (GDM) 教育入院への関わりII」の学会発表を行いました。

他施設からの質問をいただき大変刺激となる経験をさせていただきました。

学会では全部で65題の発表があり他施設での取り組みなども知ることができました。

今回の学びをより良い医療の提供につなげていきたいと思っております。



平成29年 患者様満足度調査について

接遇癒し委員会

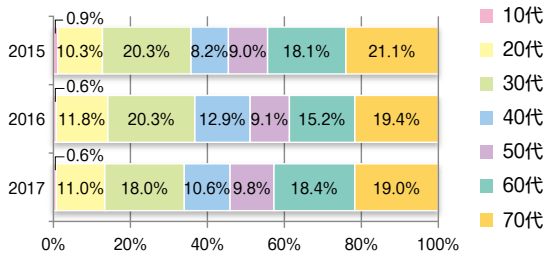
(実施期間：外来 7/3～8 入院 7/1～31)

当院では、より良い病院づくりを目指すため、年1回患者様からのご意見・ご要望をおうかがいするアンケートを実施しています。今回は、外来500名、入院187名の患者様にご協力いただきました。

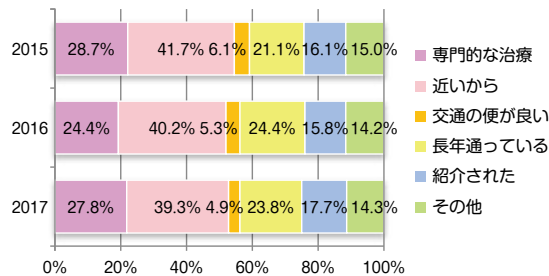
5段階評価（大変良い=5、良い=4、普通=3、悪い=2、とても悪い=1）を平均しグラフ化

外来アンケートより

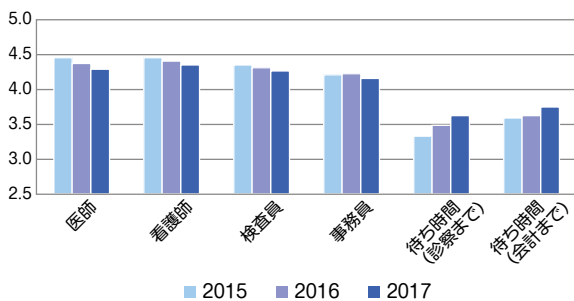
年齢層比率



当院を知ったきっかけ

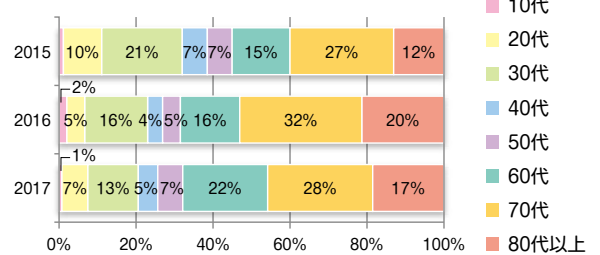


診療について

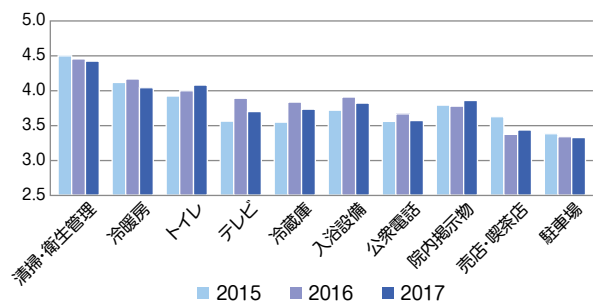


入院アンケートより

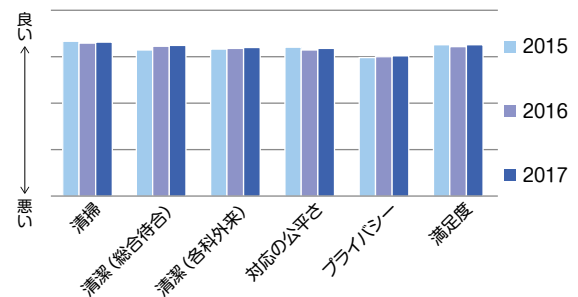
年齢層比率



施設について



全体の印象



施設面では、5月より4階フロアに「日帰り手術センター Day Surgery Center」を開設し、1階眼科外来も一部改装しました。受付エリアの拡大やサロンの設置等、待ち時間の短縮を目指し工夫を行った結果、特に眼科、産婦人科では改善に至り良い評価をいただきました。1階フロアの椅子(250脚)生地張替えも行いました。総合待合、各科外来も清潔であると評価をいただきました。

院内旅行報告

院内旅行に行って来ました!

今年は、(11月22日)生演奏を聴きながらコンチェルトでの夕食、(11月23日)USJの2コースでした。

コンチェルトは、演奏を聴きながら美味しい食事を頂き、ビンゴゲームで盛り上がり、あっと言う間のクルーズでした。

USJは、天候にも恵まれ一日思いっきり楽しみました。夕方からはクリスマスライトアップを見て、一足早いクリスマスを感じました。

みなさんのところに、サンタクロースは来ましたか?

(院内旅行 世話人)



第25回 夢祭り

を開催しました!

平成29年10月16日(月)～21日(土)、地域交流イベント第25回夢祭りを開催しました。

フロアコンサート
あさぎり室内楽団



マジックショー
地域マジシャン
藤山翔大さん



癒しのコンサート
マリンバデュオLuce
富成真由さん、河野菜花さん



保育士さんのわなげ



大蔵海岸ウォーキング
雨天のため、後日に三宅先生の講演と「レジスタンス体操」を行いました。



健康相談

看護師と助産師が日頃の心配事にお答えしました。



すこやか健康教室

眼科部長 澤田医師による「白内障手術と多焦点眼内レンズについて」の講演。来場者には「好きな健診が選べる無料チケット」をプレゼントさせていただきました。事前の問い合わせも多く、大勢の方にご参加いただきました。



窪谷眼科医長 個展



グルメ市

今年も三村副院長、管理栄養士がまごころ込めて作りました。



クリスマスコンサート 開催報告

平成29年12月19日(火)、ゲストに藤原利枝さん(ピアノ)を迎え、当院院長のフルート・職員のチェロでクリスマスコンサートを行いました。平日の午後にもかかわらず多くの方が来場し、クリスマスらしい楽曲を楽しんでいただきました。



イベント案内

■のほほんママの会(要予約)

日時 毎月第2金曜(8月除く)
14:00～15:30
場所 あさぎり病院
2階多目的ホール(食堂)
参加費 無料
内容 当院で出産されたお母さま・おさまの交流会

■妊娠中の食事を味わう会(要予約)

日時 奇数月第3火曜
12:30～14:00
場所 あさぎり病院
2階多目的ホール(食堂)
参加費 1,080円
内容 食事を味わいながら、妊娠期の食生活のポイントを紹介

※予約切は1週間前です。産婦人科外来にある申込用紙に記入してお申し

込みください。なお、開催6日前以降のキャンセルや当日不参加の場合、参加費用をご負担いただきます。

■マタニティヨガ(要予約)

日時 毎週木曜
13:00～14:00
場所 あさぎりこどもクリニック
2階ホール
参加費 1,080円
内容 プロのインストラクターによる妊娠期のヨガ指導

※キャンセルは、前日午前中までにお電



話いただくか、産婦人科外来受付に直接お申し出ください。なお開催日の前日12:00以降のキャンセルについては参加費用をご負担いただきます。

■母親教室(要予約)

日時 毎週水曜
14:00～15:30
第1水曜(妊娠初期対象)
第2・3・4水曜(妊娠後期対象)
場所 あさぎり病院
2階多目的ホール(食堂)
参加費 無料
内容 医師・助産師・管理栄養士による当院でのお産についての説明や病棟案内

ほかにも、院内でさまざまなイベントを開催しておりますので、お気軽にご参加ください。

■ 外来診療時間・担当医師表 (平成30年1月1日現在)

※外来担当医師は都合により変更となる場合がございます。毎月の外来担当医師表はホームページに掲載しております。

■ 色は女性医師

		月	火	水	木	金	土	
内科(初診予約あり)	午前	受付時間	8:20~11:00	8:20~11:00	8:20~11:00	8:20~11:00	8:20~11:00	
		糖尿病科、消化器内科 一般内科	来田	来田	来田	中川		第2、4週 岩橋 (予約のみ)
		循環器科、一般内科	杜	伊澤			山下	
		消化器内科、一般内科	小柴		三宅	吉本	三宅	
		膠原病、リウマチ内科、一般内科						第2、4週 明石
		消化器外科、乳腺科、一般内科	岸本 (消化器外科一般内科・乳腺科)	岸本 (消化器外科一般内科・乳腺科)			岸本 (消化器外科一般内科)	第1、3、5週 岸本 (消化器外科一般内科)
	午後	心臓血管外科、一般内科			金澤	金澤		金澤
		受付時間	14:30~17:00	14:30~17:00	14:30~17:00		14:30~17:00	
		糖尿病科、消化器内科、一般内科			来田	休診		休診
		消化器外科、乳腺科 一般内科、漢方外来	岸本(第2月曜除く) (漢方外来、予約のみ)	岸本 (消化器外科一般内科・乳腺科)			岸本 (消化器外科一般内科・乳腺科)	
		禁煙外来	岸本		来田			
		心臓血管外科、一般内科	金澤		金澤			
眼科(初診予約なし)	午前	受付時間	8:20~11:00	8:20~11:00	8:20~11:00	8:20~11:00	8:20~11:00	
		一般診察	三浦、藤原、大塚	森井 交代制 大塚、澤田 交代制 三浦、藤原(予約のみ)	藤原、大塚 交代制 澤田、窪谷	澤田、窪谷、三浦 第3週 藤原(予約のみ)	窪谷、森井、尾島 不定期 飽浦(予約のみ)	第1週 休診 第2~第5週 交代制 三浦、森井、澤田 窪谷、大塚
		黄斑外来 黄斑・網膜外来 角膜外来			佐柳(10:00~)	三浦		不定期 瓶井(予約のみ) 第4週 相馬(予約のみ)
		■手術日■	■手術日■	■手術日■	■手術日■	■手術日■		
	午後	受付時間	15:00~16:00	(予約外来)	15:00~16:00		15:00~16:00	
		一般診察	三浦、藤原、澤田		森井 交代制 澤田、窪谷	休診	大塚 交代制 澤田、窪谷	休診
		蛍光眼底検査 レーザー手術 角膜外来		森井、窪谷			第2、4週 片上	
		斜視・弱視外来	藤原	第1週 木村	森井		窪谷	
		ぶどう膜外来	第3週 沖波	第3または第4週 松田				
		眼形成外来			第3週 兼森			
	■手術日■	■手術日■	■手術日■	■手術日■	■手術日■			
	産婦人科(初診予約あり)	午前	受付時間	8:20~11:00	8:20~11:00	8:20~11:00	8:20~11:00	8:20~11:00
妊婦健診			藤原	野原	池野	田中	三村	第1週 休診 第2-4週 田中 第3-5週 交代制
初診・予約外 婦人科			交代制 田中	三村 池野	田中 三村	千葉 野原	池野 藤原	第2週 交代制 第4週 黒田
午後		受付時間	14:30~16:30	14:30~16:30	14:30~16:30		14:30~16:30	
		妊婦健診	交代制	田中	千葉	休診	田中	休診
		初診・予約外	エコー外来(予約のみ)	(交替制)	(交替制)		千葉	
婦人科	千葉			野原				
健診科	午前	受付時間	8:20~10:30 人間ドック	8:20~10:30 人間ドック	8:20~10:30 人間ドック	8:20~10:30 人間ドック	8:20~10:30	
	午後	受付時間	14:30~16:00	14:30~16:00	休診	休診	14:30~16:00	
あさぎりこどもクリニック	午前	受付時間	8:30~11:00	8:30~11:00	8:30~11:00	8:30~11:00	8:30~12:00	
		一般診察	小南	小南	小南	小南	小南	
	午後	受付時間	16:00~18:00	16:00~18:00	16:00~18:00		16:00~18:00	
		一般診察	小南	小南	小南	休診	小南	
乳児健診	11:00~12:00	11:00~12:00	11:00~12:00	11:00~12:00	11:00~12:00	11:00~12:00		
予防接種	15:00~16:00	15:00~16:00	15:00~16:00		15:00~16:00			

●発行日/2018年1月(Vol.62) ●発行者/医療法人社団吉徳会
●編集/あさぎり病院広報委員会(委員長 野原 当 院長)

医療法人社団吉徳会あさぎり病院 〒673-0852 明石市朝霧台1120-2 TEL 078-912-7575 FAX 078-913-6763
URL <http://www.asagiri-hp.or.jp/>